



さくらんぼ HISTORY その4

今回はさくらんぼ保育園のクイズを出したいと思います。是非親子でお楽しみください。このページの1番下にあります。

さくらんぼクイズ



その1

さくらんぼ保育園のこれまでの卒園児は全員で何人でしょう？（令和2年3月末現在）

- ①228人
- ②278人
- ③328人

その2

園庭にあるタイワンフウの木は何本でしょう？

- ①7本
- ②8本
- ③9本

その3

さくらんぼ保育園の歴代園長は何人でしょう

- ①4人
- ②5人
- ③6人



この木です！
探してみてね！

8月行事予定

- 21日（金） 避難訓練
- 28日（金） 誕生会

9月行事予定

- 4日（金） 避難訓練
- 8日（火） そら組デイキャンプ
- 25日（金） 誕生会

クイズの答え

その1 ③ その2 ① その3 ① でした

さくらんぼ通信



さくらんぼ保育園 園だより No.235

令和2年8月3日(月)発行
 さくらんぼ保育園 園だより
 桜が丘東2-2-809
 Tel 995-9071
 Fax 995-9072

「小さな命」

雨上がりの園庭ではこどもたちが落ち葉の下や植木鉢の下などを真剣な表情でのぞいている姿をよく見かけます。こどもたちはダンゴムシを探しているのです。ダンゴムシだけでなくテントウムシやカタツムリなど捕まえた生き物を飼育ケースに入れて持ち歩く姿や友だちと一緒に眺める姿が増えてきました。しかし、「ずっともっていたい」という気持ちから、そのまま飼育ケースに入れて死なせてしまうということもありました。小さい命ですが、一つの命です。そこで、土や水、えさなどダンゴムシが生きていける環境を整えたダンゴムシハウスを作りました。また、ダンゴムシなど虫を捕まえたら、ダンゴムシハウスで飼育するか逃がしてあげるかのどちらかにするという約束をしました。それからは「ダンゴムシ捕まえたからダンゴムシハウスに入れて」と約束を守りながら、毎日、ダンゴムシの様子を観察しています。「動いとる」「かわいいな」と親しみをもっているようです。こどもたちと図鑑や絵本でダンゴムシのことを調べる中でキャベツを食べることを知りました。キャベツを入れるとあっというまにダンゴムシが集まります。「すごい」「おいしいって食べとるな」とさらに興味をもち観察するようになりました。こどもたちと一緒に生き物のことを調べることで大人も新しい発見があります。

そんなある日、捕まえたダンゴムシをダンゴムシハウスではなく、捕まえた場所に逃がしている A さんを見かけました。「ダンゴムシハウスに入れなくていいの？」と聞いてみると「お父さんとお母さんが待ってるから逃がしてあげるの」と言いました。ダンゴムシの命を守るためだけでなく、ダンゴムシの気持ちも考えることができた A さん。とても素敵ですね。いろいろな生き物を大切に飼育することで生態の不思議さや命の尊さに気づくだけでなく、身近な動物や植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えることができるようにしたいです。

藤原 真由子



みんなのさくらんぼ日記

そら組の生き物の気持ち代弁日記

そら組が飼っていたカタツムリの卵がかえり、赤ちゃんがうまれました。

Aさん：「かわいい！」

Bさん：「小さい！（お母さんの）殻の中に入ろうとしてる！」

Cさん：「お母さんと一緒にいいんじゃない？」

こどもたちも大好きな人の側が安心できると感じているため、きっとカタツムリもそうだと思うのでしょね。



竹内 朝香



ほし組の生き物日記

ほし組にいるメダカの水槽の中をのぞいたことがありますか？実はメダカだけでなくタニシがいるのです。その存在にこどもたちも気づき始め「これなに？」「なにかいるよ」と観察するようになりました。タニシは水槽の石や壁面に生えたコケなどを食べてくれる掃除屋さんでもあります。水槽をきれいにしてくれてありがとう。

藤原 真由子

にじ組のいやいや日記その4

保育者とイヤイヤマンたちの戦い第4弾はお片付け編です。保育者が「お片付けするよ～」と声をかけるとまたもや得意の「イヤだ～」の嵐。そこで駆け付けたのが、いつもこどもたちと修行をしている忍者さん。忍者が「お片付けの術」と声をかけると「ニン！」と忍者のポーズをとってさっきまでのことがなかったかのように片付け始めるこどもたちでした。恐るべし忍者効果。

高尾 健太



つき組のお宝日記

5つの風船を隠しておき、風船の宝探しをしました。「よーいスタート！」の聲がかかると、押し入れの中を見たり、カーテンの裏を探したりとそれぞれに「ここかな？」と思うところを探しました。最後の1つが見つからず、「全然ないじゃ～ん！」「え～どこなん～」と諦めかけていました。保育者もヒントを出しながら見守っていると、Aさんが棚の裏にあったのを見つけ「あった～！」と風船を両手に持ち飛び跳ねていました。他の子も集まってきて飛び跳ね喜びました。最後まで諦めず探し続けるつき組のこどもたちはかっこよく頼もしかったです。

栗林 沙也香



ゆき組のかぶりもの日記

七夕で笹飾りを作り、笹に興味を持っていたので、今回は、「笹になってみる？」ということで、自分たちでフィンガーペイントした色画用紙を笹の形に切り、頭と体にもつけて、他のクラスにお出かけしてみました。「笹だよサラサラ～」と笹になりきる保育者の高いテンションに、何だか楽しくなってくるこどもたちでした。

鈴木 美夕



はな組のあそび日記

集まってままごと遊びをしているようです。日頃のお家での保護者の方の様子をよく見ているのか、保育者が何も言わなくても、ポウルの中にお玉を入れ、クルクルかき混ぜてみたり、友だちに「どうぞ」とするように差し出してみたり、何だか本格的なままごと遊びができていて驚きました。また、何よりも3人が集まって遊んでいる姿が微笑ましいと感じ、ほっこりしました。

宗國 未紗



みんなで考えよう

こどもの人権

「愛してくれる人と暮らす権利」

参考文献「子どもの力を伸ばす子どもの権利条約ハンドブック」

こどもはどこで生まれても、どんなことがあっても、「世界でたったひとりだけの宝」として、愛されて育つ権利があります。親となったおとなには、「世界でたったひとつだけの宝」であるこどもが、すくすくと育つことができるよう、愛情を注いだり、身の回りのことを整えたりする義務があります。こどもの成長には愛してくれるおとなの存在が必要なのです。

様々な理由で親と一緒に暮らせない場合がありますが、家庭のように安心して暮らせる場所や親に代わってかわいがったり、世話をしたりしてくれる大人は必要です。



イラスト あさか

ペットボトルで水鉄砲

材料…ペットボトル、ストロー

①キャップにきりで穴を開けます。

（ストローぴったりぐらいの大きさで）

②穴にストローを通して、ふたを閉めればできあがり！

シールを貼ったり、絵を描いたり

飾り付けしてみてくださいね。

松岡 加奈子



ペットボトルを押すと
ピューっと水が飛ぶよ！